

組合への加入促進のための活動を実施

赤帽山梨県軽自動車 運送協同組合



新型コロナウイルスによる外出自粛等の拡大で、宅配ニーズも増えている。赤帽山梨県軽自動車運送協同組合（矢ヶ崎正之理事長 組合員 46 名）では、最近、組合員の高齢化に伴う脱退・廃業が増えており、仕事があっても配車ができず受注ができなくなるケースも出ている。そこで、顧客サービスの維持のため、組合員の増員を最重要課題として組合の加入促進活動を積極的に取り組んでいる。

その取り組みの一環として、新規組合員の募集や組合事業の案内のために、防災訓練や各種イベントでのノベルティグッズやチラシの配布、フリーペーパーへの記事掲載、組合員募集等の看板の設置等によるPR活動を積極的に実施している。

昨年9月には、全国赤帽軽自動車運送協同組合連合会が作成したCMを地元テレビ局で 52 本放映、11 月にはテレビ山梨の情報番組「みなみおばちゃんのガッチリ金曜日」に出演して組合の事業内容を紹介した。さらには、インターネットの独立開業募集サイト「アントレ net」に掲載し、新規組合員の募集を行っている。また、毎月第2土曜日には組合事務所で事業説明会を開催、組合員の事業内容、金融機関の創業時支援制度、赤帽車リース制度などについて説明しており、創業時支援制度を利用して新規開業して組合加入に至った組合員もいた。

こうした活動により、赤帽の知名度も向上し組合加入についての問い合わせも増えつつあるが、昨年度は他県組合への移動や脱退者が加入者を上回り、組合員数の減少となってしまった。

矢ヶ崎理事長は、「組合員の減少は残念だが、

社会経済環境の変化の中で個配のニーズは高まっており、アントレ net に情報を常時掲載するとともに、加入促進のための諸活動を引き続き行い、赤帽の知名度の向上を図り組合員の加入促進を図りたい。」と語った。



組合が放映したCM